

『飯能市旧ごみ処理施設解体工事』 工事説明資料

1. 工事概要

- 工 事 名 : 飯能市旧ごみ処理施設解体工事
- 施 工 会 社 : 東亜建設工業株式会社 北関東営業所
- 工 事 場 所 : 飯能市大字下畑 768-1 飯能市クリーンセンター内
- 契 約 工 期 : 平成31年 3月18日～令和 3年 2月26日
- 着 手 予 定 : 令和 元年 7月
- 作 業 日 : 月曜日～金曜日 (週休2日)
※必要に応じて、土曜日に作業をする場合があります。
- 作 業 時 間 : 8:30～17:00
※片付などで、17時以降に作業する場合があります。

●解体施設概要

◎旧ごみ処理施設

- ・ 建 設 年 : 昭和 57 年 (1982 年)
- ・ 処 理 能 力 : 170 t/24h (85 t/24h × 2 炉)
- ・ 構 造 : 鉄筋コンクリート造、鉄骨造
- ・ 規 模 : 地上 4 階、地下 1 階
- ・ 煙 突 : 高さ 58.0m、内筒 鋼製、外筒 鉄筋コンクリート

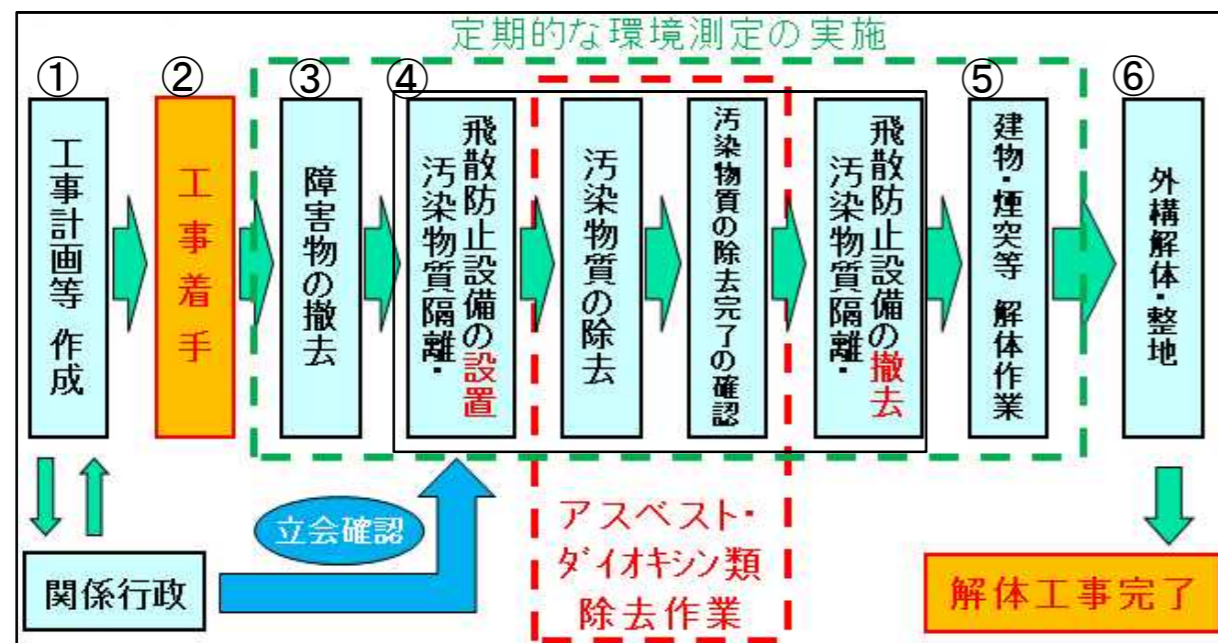
◎その他付随施設

- ・ 缶選別装置、ストックヤード 他

2. 解体工事の考え方・進め方

周辺に住宅地や食品関係の工場を含む事業者、現施設へ一般市民等の来場もあることから、法令などを遵守し、環境対策及び安全対策を十分に実施するとともに環境汚染、事故等を発生させないように万全を期して工事を行います。

3. 解体工事施工フロー



4. 工事工程表

項目	年月	平成31年		令和元年												令和2年						令和3年					
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 準備作業																											
② 準備工事																											
③ 障害物の撤去																											
④ アスベスト除去 外壁7/8含有塗材除去 内部7/8含有塗材 配管エールホ 内装材除去																											
④ ダイオキシン類除去 準備作業 除染 設備解体																											
⑤ 焼却棟建屋解体 煙突躯体解体																											
⑥ 外構解体 整地・片付け																											
検査関係																											
工事車両が多くなると 予想される期間																											

※工程表の左側の番号は、【3. 解体工事施工フロー】に記載の番号の時期になります。
※工事車両が多くなる時期として、令和2年5月頃から11月頃を想定しておりますが、車両が集中することによって、交通渋滞を起こすことの無いよう調整を行います。

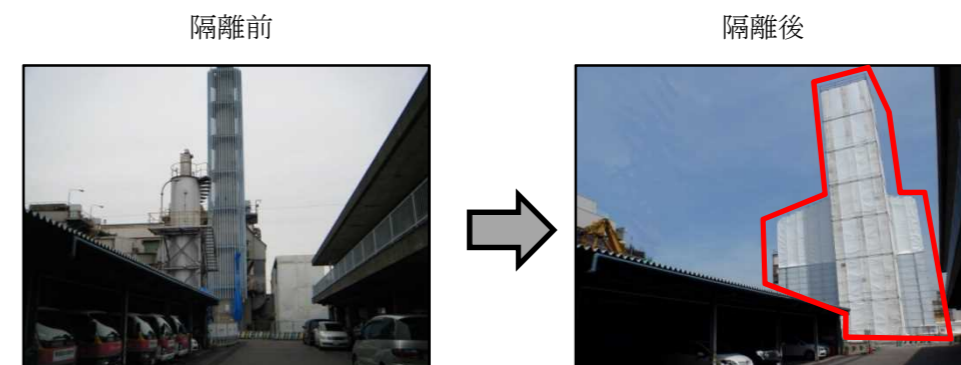
5. 解体建物のアスベスト・ダイオキシン類の除去について

下記の箇所にアスベスト・ダイオキシン類を確認しましたので、関係法令等に基づき、適正に処理します。

- | | |
|-----------------|-----------|
| ●アスベスト | ●ダイオキシン類 |
| ・ 外壁塗装部分 (RC 部) | ・ 焼却設備系統 |
| ・ 内装仕上げ材 (一部) | ・ 排ガス設備系統 |
| ・ 配管保温材 | |

汚染物質除去作業中は、周辺環境に汚染物質が拡散することのないように作業範囲を隔離するとともに、作業エリアを負圧集塵機で負圧化するなどして作業を行います。

●汚染物質 (施設) 隔離の例 (他の自治体)



汚染物質除去作業は、高圧水を使って、対象物を湿潤化しながら適切な工法で除去します。
除去に使用した汚染物質を含んだ水は、水処理設備で汚染物質をろ過し、繰り返し使用することで、汚染水の発生を可能なかぎり少なくします。

●アスベスト除去状況の例



●ダイオキシン類除去状況の例（焼却施設）



6. 焼却器機類・煙突の解体

焼却器機類の解体は、解体用重機を使用して、隔離した空間の中で解体を行います。
煙突の解体は、現況の計画では、上の部分はコンプレッサーを使用して人力で行います。解体用重機が届く高さ（およそ地上30m）まで解体したら、下の部分は解体用重機にて行います。

●焼却器機類の重機解体の例



●煙突の重機解体の例



7. 周辺の環境測定

工事期間中は、定期的に環境測定を実施し、周辺環境に悪影響を及ぼさないように工事を進めます。

- 実施する環境測定
- ・騒音・振動の測定
 - ・汚染物質除去時の周辺大気測定
 - ・汚染物質除去時の粉じん測定

●騒音・振動測定器の例



●大気測定器の例



●粉じん測定器の例



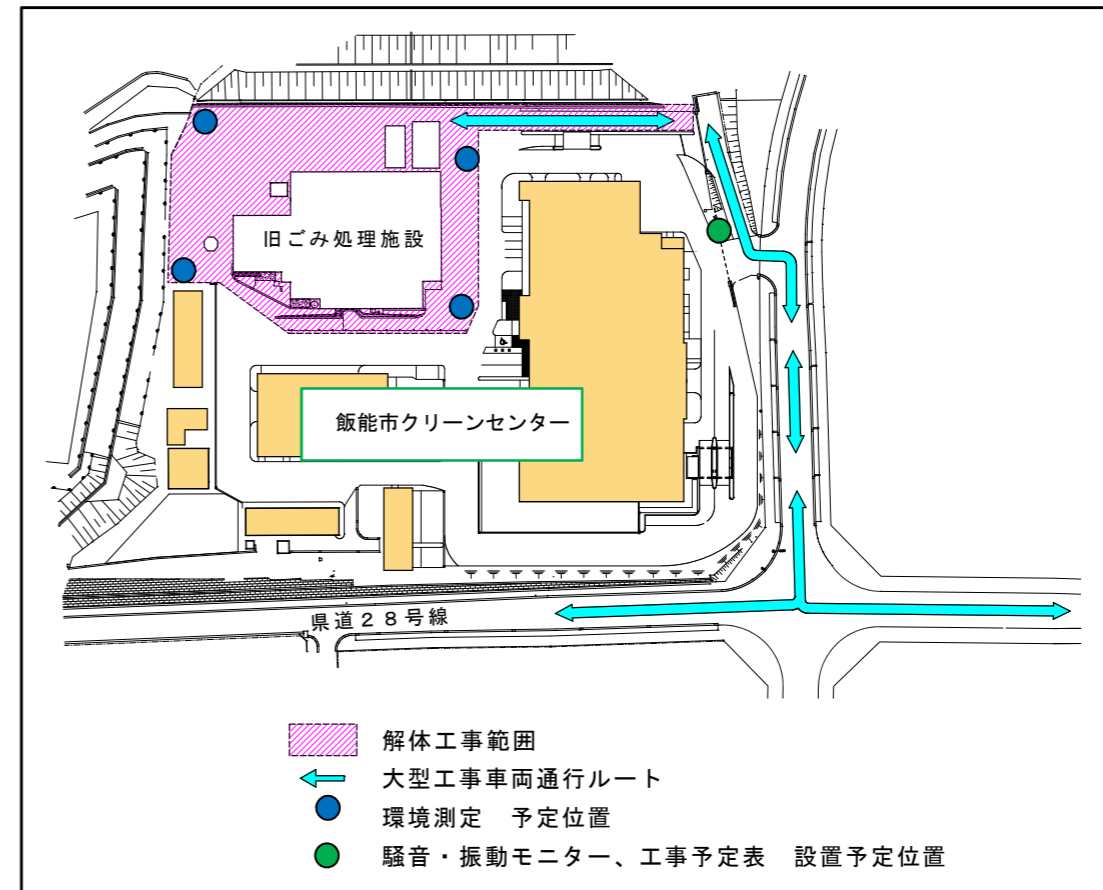
8. 作業員への安全対策

作業員には、作業所にて十分に安全教育を実施してから作業を行わせませす。安全を最優先とし、労働災害発生を防止するのは当然の事、高所作業や重機作業など、重篤な災害に結びつく作業においては、関係作業員全員で作業手順の確認をしてから作業を行います。また、汚染物質取り扱い作業を行う作業員においては、事前に十分な教育を実施し、適正な保護具を使用させ、汚染物質によるばく露を防止します。

9. 解体工事中の工事車両の通行ルート等について

解体工事中は、現クリーンセンターとは出入り口を別に設け、誘導員を配置することで、クリーンセンター利用者・歩行者・通行車両などに支障が無いように努めます。
また、場外での工事用大型車両の通行は、県道28号線を通行することで、住宅地の中に大型車両が通行することのないように指導を徹底します。

●工事用大型車両の通行ルート、環境測定予定位置 及び 騒音・振動モニター、工事予定表設置予定位置



●解体工事についてのご質問がございましたら、下記までお寄せください。

資源循環推進課（クリーンセンター内）
〒357-0052 飯能市下畑 768-1
電話 042-973-1010
FAX 042-973-1002
E-mail clean@city.hanno.lg.jp